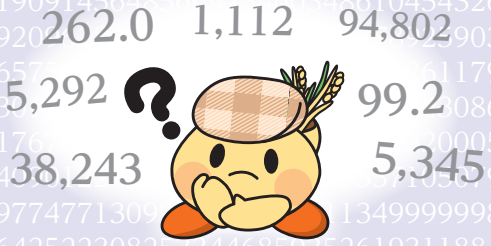
数字で振り返る岩見沢



私たちの日常生活は、気象など身近な自然現象のほか、通学や通勤時の交通、食料品などの買い物、ごみ処理、病院や学校、住まいの快適さなど、さまざまな社会現象と関わり合っています。こうしたさまざまな現象を正しく理解するため、岩見沢に関する統計数字を過去に遡って紹介していきます。

問合先　庶務課市史資料室（北村支所内）　☎56-2001

第8回　ぐんと減ったごみの量

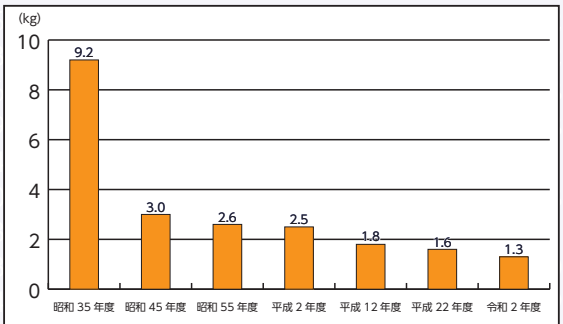
今月の数字　3キログラム

パックス・ステーション方式のごみ収集（昭和45年）

きれいで衛生的なまちにするには、ごみの清掃が欠かせません。ごみの収集は昭和23年から始まり、昭和33年からは馬車や専用トラックも使われました。昭和40年代前半、無造作に道路に置かれたごみが散乱しないよう、市街地ではごみの袋詰め、ステーション方式による収集が始まりました。家庭ごみが収集の対象で、石炭殻や古新聞などは大きく減りましたが、それでも1世帯当たりの1日平均ごみ排出量は3キログラムにもなりました。

収集したごみは、昭和40年代までは古川や沢地に埋められていましたが、悪臭など公害の防止や埋め立て場所の効率的な利用を図るため、昭和47年に岩見沢じん芥処理センターができました。粗大ごみや不燃性ごみを処理する破砕施設は、北村地区や栗沢地区にも利用されました。

昭和50年代になると空き缶や空き瓶などの分別、平成4年からは燃やせるごみの分別、平成12年からはペットボトルの分別などにより、ごみのリサイクルと減量化が進みました。平成20年代からは家電、プラスチック類が分別回収され、平成27年の新たなごみ処理施設〝いわみざわ環境グリーンプラザ（いわ☆ぴか）〟の完成に合わせてごみ収集が有料化されました。



1世帯当たりの1日平均ごみ排出量

ごみを収集する曜日や時間は決まっていますが、収集作業は大雨や大雪など天候の影響を受けます。ごみ出しルールが守られていないと、収集に時間がかかるほか、危険物による怪我や発火事故なども起きます。私たちは、ごみの分別やリサイクル、再生可能な製品をできるだけ長く使うなど、限りある資源の節約や有効活用で地球環境への負荷を減らし、財布にも優しいライフスタイルへの転換を考えていく必要があります。

広報紙はとじておきましょう

人の動き（令和6年9月30日現在）

●住民基本台帳　人　口	男	34,781	人（前月比	－　53）
	女	39,743	人（前月比	－　18）
	総数	74,524	人（前月比	－　71）
世帯数		40,597	世帯（前月比	－　14）

岩見沢市役所

〒068-8686　北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
☎0126-23-4111（代表）　FAX 0126-23-9977
ホームページ
https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp

X（旧Twitter）　Facebook　Instagram　LINE

発行・編集　岩見沢市総務部秘書課広報室

広報クイズ

問題
郷土科学館のプラネタリウムでは、四季折々の星と星座や□□□□神話のアニメーションを上映しています。
□に当てはまる言葉をお答えください。

プレゼント
正解者の中から抽選で10人に**図書カード500円分**をプレゼント

締め切り　11月20日㈬（必着）

応募方法
はがき（送付先左記）、市ホームページのフォーム、ファックス（0126-23-7731）、Eメール（pr@city.iwamizawa.lg.jp）で、◉クイズの答え◉住所◉氏名◉年齢◉電話番号◉広報紙に関するご意見・ご要望を**必ず**記入し、総務部秘書課広報室へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。10月号の正解はiでした。

UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この広報紙は道産間伐材配合紙を使用しています。